

みことばはわたしを生かす

第十三回

「神にあつて失敗も益とされます」

日本福音キリスト教会連合
二宮山西キリスト教会牧師 牧岳司

人生は失敗の連続

「私、失敗しないので」医療系のテレビドラマで主人公が決め台詞にしている言葉です。この言葉を聞きながら、爽快さと共に、自分が何度となく経験してきた失敗の苦々しさを思い出します。

失敗は成功のもとという言葉があるぐらいですから、恐らく失敗をしない人というのは一人もいないのではないのでしょうか。いや、聖書を見る時にそこに描かれている人々の姿も、まさに失敗の連続であったということをお教えられます。



一体どのように受け止めたかということ、聖書には何も書かれてはいませんが、さぞ心を痛めたと思いますし、心に大きな傷を残すことになったのではないかと思うのです。明らかにこれは失敗の経験でした。

しかし、マルコには慰めの子と呼ばれるバルナバがついていました。バルナバと宣教旅行に出かけたマルコは、徐々に心の傷を癒やされ、イエス様の働きを進めていく働き人へと成長していくのです。それは、彼が書いた福音書が今日も私たちのもとに残され、時代を超えて読み継がれているということからも分かります。

失敗の経験—ペテロの場合

マルコが書いた福音書は、ペテロの説教をマルコが文字に残したものだと言われています。バルナバとの宣教旅行を終えたマルコは、やがてペテロの執持ちのようになって、いつも行動を共にしていました。私たちはペテロという名前を聞くときに、自然と彼自身の失敗のことも思い出します。

ペテロは、イエス様が捕らえられ、大祭司カヤバの官邸で裁判を受ける様子を、中庭から遠目に見ていました。人々の目が恐ろしく、近づくと

し、イエス様との関係を問われた時に、思わずイエス様との関係を否(いな)んでしまつたのです。

三度否んだ時に、鶏が鳴き、イエス様があらかじめ言われていたことが実現しました。ペテロは、イエス様が話された時に、自信満々に「そんなことをするはずがありません。あなたとどこまでも一緒にいきます。死ぬことも厭(いと)いません。」と豪語していました。ところが、見事にイエス様のおことばがその通りになった時に、彼は悲しみと共にその場を後にすることしかできなかったのです。まさに、この出来事はペテロの人生においての大失敗。生涯、忘れることのできない出来事となりました。

しかし、ペテロはこの傷を、よみがえられたイエス様に癒やしていただくのです。そして、そのペテロは「わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。ですから、あなたは立ち直つたら、兄弟たちを力つけてやりなさい。」(ルカ22章32節)と、イエス様が言われた通りのことをマルコに行なっていくのです。

ペテロは自分と行動するマルコのことを見る度に、このイエス様のおことばを思い出したのではないか。私はそう思うのです。



失敗の経験—マルコの場合

皆 さんは誰を思い出しますか。私は使徒の働きに登場するバルナバのいとこ、マルコを思い出します。彼はパウロとバルナバが計画した第1回の宣教旅行に名誉ある同行者として選ばれた青年でした。彼は自分に声がかかったことを誇らしく思ったに違いありません。意気揚々と2人の頼れる先輩方に同行したことでしよう。

ところが、使徒の働き13章13節を読むと、マルコが二人から離れ、一人エルサレムに帰ってしまったことが記されているのです。なぜか。聖書にはその明確な理由は書かれていません。ですから、はっきりしたことは分かりませんが、15章を見ると、このマルコを再び宣教旅行に同行させるか否かということで、パウロとバルナバとの間に激しい議論が起こり、結果、パウロもバルナバもそれぞれが違うパートナーと組んで宣教旅行に出かけることになるのです。

明らかにマルコに対する評価が原因となりました。パウロは、マルコが自分たちから離れ、一人エルサレムに帰ってしまったという事実を重く受け止めていたのでしょうか。マルコに対する怒りや不信、そんな思いもあったのではないかと思えます。

激しい口論の末に、これまでタッグを組んできたパウロとバルナバが別々に行動するようになるということ、口論の張本人であったマルコが、

失敗を分かち合うこと

恥 の文化の中にあつて、自分の失敗を他の人に話すというのは、できそうでなかなかできません。しかし、実は、人の失敗を聞くことほど学びになることはありません。

ある牧師の集まりで、企画者が今回のテーマは互いの自慢ではなくて、失敗を話し合う時としようという提案された時がありました。自慢話はその人がどんなに優秀であるかを知らしめる機会にはなつたとしても、それを聞く人たちの心が慰められることはほとんどありません。けれども、包み隠さずありのままを語る失敗談は、同感する心や慰めを生み出すのです。

「マルコよ、お前のとつた行動でパウロの怒りを引き出してしまったようだ。お前のせいで、おじさんのバルナバとパウロの仲も悪くなつて。でもな、そう落ち込むな。俺はイエス様を裏切つてしまったんだ。あんなにイエス様の前で偉そうに豪語していたのに、見事にイエス様が言われた通りになつてしまった。もう駄目だと思つたよ。でもな、イエス様はそんな俺を見捨てるんじゃないよ。さあ、お前もいつまでも落ち込んでいないで、元気になれよ」